

# 010 健康経営 取り組み事例

企業  
プロフィール



中外製薬 中外製薬株式会社

業種 8 医薬品

従業員数 7,082名(2024年度末)

## 01 推進方針

生命関連企業として従業員の健康を大切に考え、健康保持・増進に取り組みトップ製薬企業としてさらに生産性を高めイノベーションを追求し経済性・社会性・人間性の全ての視点で企業価値向上を目指していく。その担い手である従業員が心身共に健康でいきいきと働くことができ、活力ある健全な組織風土を実現していくことが不可欠と考え「個人の健康」「組織の健康」の維持・向上に会社と従業員が積極的に取り組む健康経営を実現していく。

## 02 目標・課題

**目標** 従業員の健康保持・増進に向け、積極的な働きかけと職場環境改善に取り組むことで、一人ひとりが自律的に健康維持・改善に努め、誰もが充実して働き続けられることを実現する。

### 目標の達成状況を確認する指標(KGI)

指標(KGI)の概要	
【がん検診再検査受診率】、【生活習慣病所見ハイリスク者率】、【高ストレス者の面接希望者率】	
指標(KGI)の目標値	達成目標年度
・がんによる離職低減:がん検診再検査受診率95%以上 ・生活習慣病に起因する離職・事故の低減:生活習慣病所見ハイリスク者率1%未満 ・メンタル不調による離職低減:高ストレス者の面接希望率 高ストレス者全体の50%以上	2030年度

### 自社従業員の課題

**重点課題①** 【KGI】 生活習慣病所見ハイリスク者率1%未満

**⑧健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防**

**課題内容** 生活習慣病に係る即治療が必要な者が2023年、2024年ともに0.6%と、2030年目標値である1%未満を達成しているものの、2024年度即治療者0.6%の内、22%が前年度からの継続対象者となっている点。

数値目標(KPI)	数値			単位	年度
	取組前実績値	0.6	%	%	2023年度
現在の実績値	0.6	%	2024年度		
目標値	1.0	%	2030年度		

**重点課題②** 【KGI】 がんによる離職低減:がん検診再検査受診率95%以上

**⑰その他**

**課題内容** がん検診有所見者を対象に再検査の受診状況を把握したところ、2021年は65.8%、2022年は78.9%、2023年は81.3%、2024年は83.7%。がんの仕事の両立支援に取り組んでいるが、がんによる離職・退職する従業員が増加することは個人と組織の生産性が低下する影響があり、重要な課題として捉えている。

数値目標(KPI)	数値			単位	年度
	取組前実績値	65.8	%	%	2021年度
現在の実績値	83.7	%	2024年度		
目標値	95.0	%	2030年度		

## 03 施策・実績

### 健康経営の取り組み

#### 施策内容(重点課題1)

**社内の産業保健スタッフ(産業医、産業看護職)による即治療者との全局面談、受診勧奨および受診確認を行い、適切な治療への誘導を行っている。**

#### 具体的な実践内容1

分類	自社グループ組織	名称	即治療者の受診勧奨、受診確認
内容	定期健康診断の結果、即治療者となった者は産業医が全局面談。未治療者へは複数回の受診勧奨、治療開始後3か月後に経過確認の面談を実施。		
導入時期	2024年	選択理由	●効果
評価(定量・定性)	●2023年度健診における即治療者0.6%の内、2024年健診では78%が即治療群から改善。 ●適切な治療への誘導により、即治療群の健診結果改善が見られている。		

#### 具体的な実践内容2

分類	外部サービス	名称	健康支援アプリ(&well)
提供元社名	三井不動産株式会社 様		
内容	健康情報に関する動画配信、コラム資料、歩数アプリ連携による歩数情報の記録、体重管理、社内ウォーキング企画(チーム戦)機能など。		
導入時期	2023年		
選択理由	●効果 ●使いやすさ ●サービス製品の可能性		
評価(定量・定性)	●健康支援アプリ(&well) 全社登録率:69.5% ●当施策を実施することで社員全体の健康維持・増進を図り、予備群を抑制することで重症化を予防。具体的には、健康支援アプリを活用しメンタル面でのモチベーションアップやメンタルタフネス等の情報の配信や、ヨガや体操等の実践動画を通じて首・肩こりの解消を行う等して心身のケアを通じた生産性低下防止対策に寄与している。		

#### 施策内容(重点課題2)

**外部のがん専門看護職と連携し、がん検診有所見者への精密検査受診勧奨を行っている。**

#### 具体的な実践内容1

分類	外部サービス
提供元社名	エムスリー株式会社 様
内容	がん検診受診有所見者への受診勧奨
導入時期	2021年
選択理由	●効果 ●使いやすさ
評価(定量・定性)	●導入時のアンケートで精密検査受診率が65.8%にとどまっていたことから当施策を導入。2022年は78.9%、2023年は81.3%、2024年は83.7%に増加。 ●会社からの受診勧奨に加えて、がん領域を経験している保健師との相談により、精密検査に関する社員の意識、理解が深まり、その結果として精密検査受診に繋がった。

#### 具体的な実践内容2

分類	外部サービス
名称	みんなチャレ
提供元社名	A10ラボ 様
内容	喫煙希望者への禁煙支援サービス
導入時期	2024年
選択理由	●効果
評価(定量・定性)	●事業所内禁煙・就業時間内禁煙に加え、2024年度から「みんなチャレ」を活用し6.7%(前年比-1.2%)に減少。禁煙補助薬の支給、禁煙仲間との励まし合い禁煙達成を目指すプログラムを展開。 ●みんなチャレの2025年実績は37人が参加、20人が禁煙に成功。

## 04 健康経営の成果

検証指標	血圧、血糖、脂質、肝機能、腎機能、尿、貧血、尿酸、心電図など複合指標による生活習慣病高リスク者判定
検証手法・方法	生活習慣病起因の離職低減のため、健診・ストレスチェックのデータを使用して生活習慣病ハイリスクに影響の強い生活習慣の多変量解析(ロジスティック回帰分析)を実施。非リスク者A群がリスク者C/D/E群と比較して運動、食事、睡眠、喫煙、飲酒習慣や生活習慣改善意識にどのような特徴があるかを分析した。
検証結果(具体的な施策の成果を含む)	非リスク者は非喫煙・早食いリスク非該当といった特徴があることを統計的に確認(オッズ比1.4倍・1.3倍)。喫煙者は非喫煙者と比較してリスクが高いとされるD/E群の割合が高かった。重点的にフォローする。

### データ活用事例

内容	健康診断結果を健康支援システム(Growbase)で一括管理。検査情報、問診情報から健康状態の全体傾向を分析し健康課題の特定を行っている。加えて、KGI・KPIの検証にも活用している。
利用データ	健康診断、人間ドック結果、問診(生活習慣、喫煙習慣、飲酒習慣等)
利用者(ユースケース類型)	健診事後措置として産業保健スタッフによる面談、ストレスチェック結果に基づく高ストレス者面接の迅速化に活用。加えて、健康経営戦略の検討として全体データを集約し、経年変化、ベンチマーク(厚労省健康診断有所見者率との比較)から考察し課題抽出や施策立案に活用している。